

こんにちは、検査科です。
桜も開花し、段々と暖かくなってきましたね。
今回はアルツハイマー病の前段階であるMCI(軽度認知機能障害)やその検査について紹介いたします。

認知症について知ろう



色々な原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりしたために様々な障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態のことを示します。
日本国内では高齢化がますます加速する中、高齢者における『認知症』の発症が大きな課題となっています。
その中でも『アルツハイマー型認知症』は、認知症の中でも全体の7割近くを占めますが、完治するための薬などは存在していないのが現状です。



アルツハイマー型認知症って？

アルツハイマー型認知症とは特殊な蛋白質(アミロイドβ、タウ蛋白)が脳内にたまり、神経細胞を傷つけることでおこると言われています。

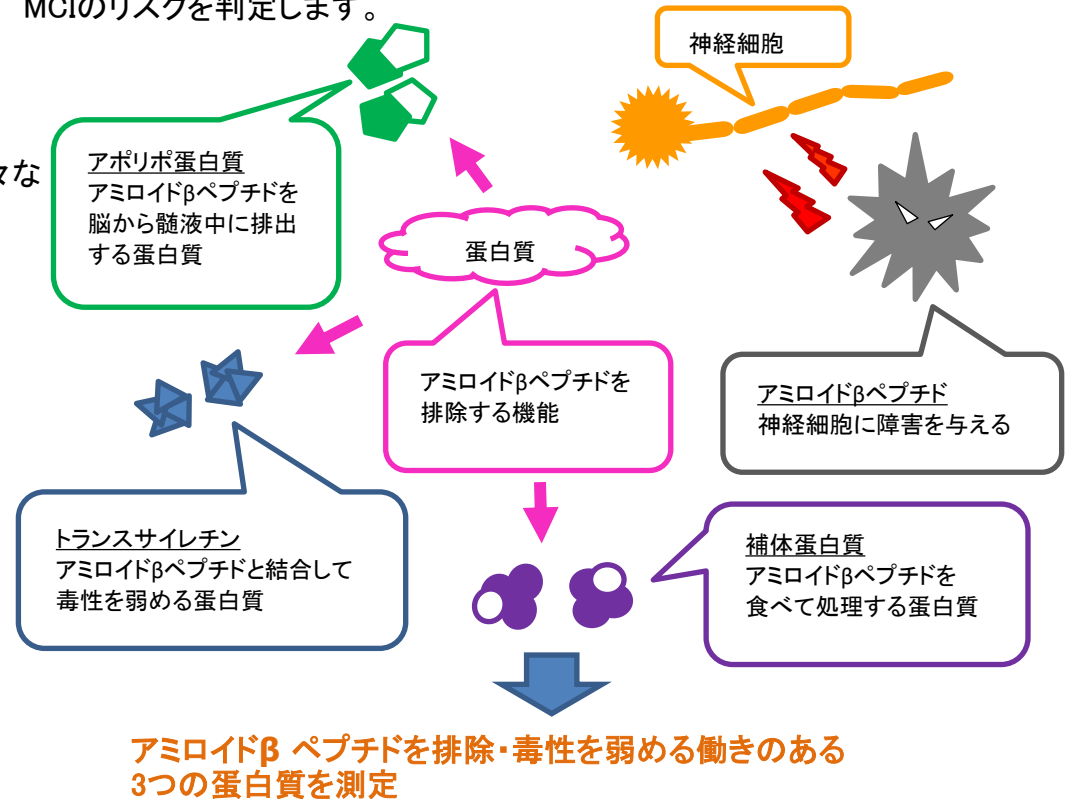
軽度認知機能障害 MCIって??

加齢に伴う物忘れと認知症の間にはMCIと呼ばれる段階がある事がわかっています。MCIとは認知症予備軍とも呼ばれ、認知症ではないものの加齢に伴う物忘れよりも悪い状態が継続的に続く状態を指します。MCIの状態が約5年ほど継続すると、半数以上の方が認知症に移行すると言われています。
一方、MCIの段階で適切な予防を行うことで認知症への移行を食い止めることもできます。



MCIスクリーニング検査について

この検査は前述したMCI(軽度認知症障害)のリスクを判定する血液検査です。
アルツハイマー型認知症の原因物質といわれているアミロイドβペプチドを排除、またはその毒性を弱める機能を持つ血中の3つの蛋白質を調べる事でMCIのリスクを判定します。



※検査ご希望の方は医師へ相談してください

しんとし健康セミナーのお知らせ

日時:2019年4月17日(水) 13時~14時 場所:西館3階 カンファレンス室
テーマ『ニオイの検査で認知症を早期に発見!』
昨年12月に好評だった内容になります。みなさまのご参加をお待ちしています!

